

# ベッネル VÄNNER(仲間)

R3年12月 21-12号 スウェーデンヒルズ町内会

## 阿蘇岩山も反対です！

石狩市と当別町の市町境に位置する阿蘇岩山は、橄欖岩玄武岩でできているれっきとした火山で、溶岩円頂丘です。標高は418mですが、樺戸山地の南、石狩丘陵の奥にあって、東西方向からはっきりと見え、古来日本海を航行する北前船などの目印として珍重されてきました。

明治6年、日本で初めて行われた三角測量の際にも測量点として使用され、現在も一等三角点があります。ちなみに「アソ・イワ」はアイヌ語で、「柴山・雑木林」を意味します。

明治4年、旧仙台藩岩出山領から厚田郡聚富に入植した伊達邦直主従は、表土の浅い砂地の聚富より、内陸のトウベツが有望な地であると聞き及びます。この年5月8日から二度に渡って「トウベツ踏査」に出かけます。シラツカリ沢から高岡分水嶺を越えて弁華別、ようやく当別川兩岸の地味を確認しながら現在の市街地に達しました。つまり聚富から高岡を経て当別に至る道は、いわば当別の「歴史の道」ということができます。

そうして翌5年、二回目の移住者と共に当別へ

ノの再移住が行われ、当別の本格的な開拓が始まります。当別に入った邦直主従は、誰からともなく西側にそびえる阿蘇岩山が、故郷岩出山で仰ぎ見た栗駒山(1627m)に似ていることに気づきました。それで朝に今日一日の無事と開拓の進展を願い、夕べには明日の幸福と繁栄を願って手を合わせました。この村民の思いは、鎮守社を「阿蘇岩神社」と命名することで実現されます。後に「阿蘇神社」と改称し、明治29年には伊達邦直を祭神とすることが許可されます。更に昭和42年、「当別神社」と改称して現在に到ります。

このように阿蘇岩山は当別に住む人々にとって、郷里の栗駒山に似た「郷愁の山」、「聖なる山」であり、伊達邦直の短歌にも「あそ山のしげる木立をふみ分けて住み見し月の今も替らず」と謳われています。

この阿蘇岩山の南に、12基の風車を建設するというのは、町民の信仰を蹂躪し冒瀆する行為と言って過言ではありません。更に景観の破壊や健康被害をもたらす懸念があり、こうした計画を断じて許すことはできません。

## ヒルズ総会後の風力発電反対活動状況

10月24日 臨時総会決議日翌日 業者説明会出席。200名を超える参加者で建設事業者を圧倒
10月25日 ヒルズ町内会として後藤町長へ建設反対の陳情書提出
10月26日 ヒルズ町内会として当別町議会。高谷議長へ反対の陳情書提出
11月 4日 当別町考える会とタイアップし、当別町町内会43町内会へ事業者説明会と町内会長意見交換会実施。24町内会長が出席し、業者に問題ありと断定
11月 7日 ヒルズ役員会開催時にて署名運動に加勢を呼びかけ。建設反対署用紙全戸配布、署名活動による道庁、町長への働きかけ基盤づくり。
11月13日 西当別連絡協議会(13町内会) 13町内会長緊急会議で風発建設問題を取り上げ、9町内会が反対決議の賛同
11月15日 当別町考える会+ヒルズ町内会で後藤町長、高谷議長へ署名用紙提出 約2900筆(15日まで)
11月17日 町議会産業厚生常任委員会にて以前からの建設反対に関する請願書3件の審査委

ノ員会で審議実施。委員会で満場一致で反対意見となる。
同日14時 西当別連合評議会町内会・会長名で9つの町内会が風発建設に反対の陳情書を提出
11月18日 ビトエ町内会役員会で風発問題説明(森田、専門部会有志応援)
11月20日 太美北町内会役員会にヒルズ専門部会が出席し、説明意見交換(ヒルズ風発問題専門部会の応援)
11月20, 21日 ヒルズ専門部会及び有志による署名用紙の回収活動実施
11月25日 臨時会で反対請願書・陳情書可決
12月7日~14日 町議会で風発反対請願書ヒルズからの陳情書採択(予定)
12月18日 再度町内会43地区の業者説明会を予定(白樺コミセンにて)

全国的に風力発電建設問題で議会でとりあげられ、反対可決は珍しいことです。

2021, 11, 20 現在 (文責 会長 森田利幸)

## 防災緊急メールの活用

10月の定例役員会で、防災緊急メール網で防災緊急以外の案内メールを送信することは是非について協議したところ、①防災緊急メールの趣旨を尊重し防災緊急の案件に限るべき、②連絡網の有効活用を優先しその他の案内も送信して良いのではないかと意見が出されました。①は防災緊急メールだから登録された方は、緊急連絡ではないものを受け取りたくないのではないかと、また、防災緊急メールが届くと驚くので最少にすべきだなど。②はペーパーで案内済みの行事などの再確認として案内するのは有用であり、ペーパーでの案内の補完としてもメール網を使いたい、などでした。防災緊急メールを使用せずメールで送信するには新たなメール網を立ち上げる必要があるが、それは会員に必要以上の負担を強いるほか、不要な混乱を招く恐れがあるとの意見が大勢を占め、今後は前防災部長の高村氏(現顧問)ご提案により次の通り運用したいと考えております。①「**ヒルズ防災・緊急メール**」([bosai-swedenhills@googlegroups.com](mailto:bosai-swedenhills@googlegroups.com))は、緊急時の情報連絡メールとして従前のまま利用する。②新たに、緊急ではない連絡を行うために、「**ヒルズお知らせメール**」([info-swedenhills@googlegroups.com](mailto:info-swedenhills@googlegroups.com))を新設する。一旦「ヒルズ防災・緊急メール」メンバーのメールアドレスは、「ヒルズお知らせメール」にも登録しますが、「ヒルズお知らせメール」への登録を希望しない方については、その旨メールでお知らせいただき、当該メールアドレスを削除します。※なおメール等ご使用になれない方には、防災緊急のお知らせ手段に関しては今後も充実を図っていきたくので、ご意見などを防災部または各地区の役員までお知らせください。 防災環境部

## 【コラム】広報より知るヒルズの歴史③

昭和54年11月に、以前の開発計画が見直されて「当別町総合開発新計画」の構想案が示されました。この中で町西部地域については、札幌大橋(仮称)と石狩湾新港の背後地として宅地開発の導入に努めると記されています。ちょうどこの時期には、スウェーデン北海道産業文化提携事業団一行が来道し、札幌市近郊にスウェーデンセンターを建設し交流事業を行う財団の設立が計画されていました。

一方、札幌大橋については昭和56年11月に着工の安全祈願祭と祝賀会が開催され、札幌市への直結ルートのなかった本町にとって待望の大事業が始まりました。昭和28年に架橋促進期成会が結成されてから実に30年近い歳月が流れたことになり、これに合わせて町西部地区で、民間事業者によるスウェーデン村やスウェーデン交流センターの建設計画が具体化するとともに、当別町は乱開発を防ぐため西部地域開発計画策定のプロジェクトチームを結成しています。次回④へつづく



↑札幌大橋着工を載せた『広報とうべつ』第338号。

## 福祉厚生育成部から



＜クリスマスサンタプレゼントのご案内＞

12月のスウェーデンヒルズ恒例行事

「サンタプレゼント」今年も実施いたします！

今年は、子供会の全面協力を得て、中学生以下の子供会登録者全員プレゼントを実施いたします。

昨年同様コロナ感染予防のため、サンタ達の盛大な訪問は控え、玄関先でプレゼントを手渡し形となる予定です。

どうぞお楽しみに。



プレゼント配布  
2021/12/18(土)  
～2021/12/25(土)

## お知らせ

＜会議室でのフリーWi-Fiが可能になりました＞

SSID:sdh-wlan パスワード:Zaq12wsx

(ゼット・イー・キュー・1・2・ダブリュ・エス・エックス)

＜ヒルズ防災・緊急メールの登録推進＞

防災メールの今後の活用を現在検討中ですが、情報をお知らせするのに本当に便利なため、スマホやパソコンをお持ちの方で未登録の方は登録をおすすめいたします。現在222戸で登録されています。

登録の方法

- ① 宛先に [hills-bosai@googlegroups.com](mailto:hills-bosai@googlegroups.com) を入力  
件名は未入力で結構です
- ② 本文に名前と住所を入れる  
例 森田利幸 E9-1-12  
→ 森田 E9-1 で大丈夫です
- ③ 送信



- ただいま建築中 -



E5-3-13 2月前半までの予定  
E7-1-4 1月後半までの予定  
W2-1-16 12月後半までの予定  
W3-1-10 1月下旬までの予定

町内会事務局 (常駐はしていません)

スウェーデンヒルズE4-2-3 ヒルズコミセン内

TEL/FAX: 0133-26-3763

Email: [swedenhills@kind.ocn.ne.jp](mailto:swedenhills@kind.ocn.ne.jp)

町内会ホームページ:

<https://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/town/swedenhills/>



町内会独自の**資源回収**にご協力をお願いします。

毎月第4水曜日 **12月22日**